

追悼のことば

本日ここに、平成二十八年度古賀市秋季戦没者追悼式が執り行われるにあたり、古賀市議会を代表して、謹んで追悼のことばを申し上げます。

多くの尊い命が失われた先の大戦が終わりを告げてから、七十年余りもの歳月が過ぎ去りました。祖国の平和と発展を願い、また家族の安泰を念じ、戦闘の中で傷つき斃^{たお}れ、戦禍の犠牲となられた皆様、あるいは戦後に至るまで異境の地に残され、祖国に帰ることが叶^{かな}わなかった皆様が無念さに思いを馳せますと、痛惜^{つうせき}の念を禁じ得ません。

ここに改めて、戦没者の皆様のご冥福を心よ

りお祈り申し上げます。

そして、最愛の肉親を失われたご遺族の皆様方のご心情をお察しするとき、お慰めの言葉も見出せませんが、敗戦後の相次ぐ苦難に耐え、乗り越えてこられましたそのご努力に心から敬意を表するものでございます。

今日、当然のように享受している平和と繁栄は、戦禍の中で尊い命を捧げられた皆様の重い犠牲の上にもみあり得たものだということを、私たちはひとときも忘れてはなりません。改めて、戦没者の皆様に敬意と感謝の誠を捧げます。

私たちは、こうした尊い犠牲を次の世代にしっかりと伝え、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の実現に努めていくことこそが、戦没者の皆様に報いる途であると確信いたしております。

古賀市議会十九人の議員は、ここに、悲しみの歴史を二度と繰り返さないとの決意を新たに、戦争の悲惨さと平和の尊さを、風化させることなく未来へと語り継ぎ、希望と健康で心豊かな社会を永遠に築いていくために全力を尽くすことをお誓いいたします。

結びに、戦没者の御霊みたまの安らかならんことを、そして、ご遺族の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念し、追悼のことばといたします。

平成二十八年九月十五日

古賀市議会議長 結城 弘明